

中体連夏季総体・吹奏楽コンクール壮行会

6月30日（金）に、中体連夏季総体・吹奏楽コンクールに出場する生徒たちを激励するため、生徒会主催の壮行会が行われました。ユニフォームや制服に身を包み、凛々しい態度で決意表明をする生徒たちの姿がとてもたくましく見えました。

吹奏楽部のコンクール曲「アルカザール（スペイン風序曲）」の演奏で始まった壮行会。各部の決意表明の後に行われた代表生徒による選手宣誓は、熱い思いが心に響いてきました。また、コロナのために今までできなかった全校円陣も、今年度は実施できました。まさに松井田中学校が一つになった瞬間でした。大会やコンクールでは、今までの自分の努力を信じて、ベストを尽くしてほしいと思います。



努力は人を裏切らない

ある中学校の女子ソフトボール部の話です。負ければ3年生が引退する最後の試合のことです。そのチームは4回を終え、4対3で負けていました。4回終了後、そのチームで試合に出ていない一人の選手がベンチの裏で一生懸命素振りを始めていました。見ていてとても不器用で、打てそうにないスイングでした。でも、そのチームが守りの時も、攻撃の時も、力の限り一生懸命に素振りをしていました。その選手は中学校入学からソフトボールを始め、今まで試合に出たことはなく、常に補欠でした。それでも毎日素振りをを行い、部活の練習が終わってからも一人で素振りをしながら努力していたそうです。試合はとうとう7回の裏、ここで点が取れないとゲームセット。ワンアウト、ランナー満塁。一打同点あるいは逆転です。監督は、ベンチ裏で素振りをしている選手に代打を命じました。結果は……空振り三振で、そのチームは負けてしまいました。その素振りをしていた選手は、三振した後、バットを握りしめて、大粒の涙を流して泣いていました。きっと誰もが打たせてあげたい、勝たせてあげたいと思ったはずですが、相手チームも勝ちたいし、現実はそのように甘いものではありません。

「努力は人を裏切らない」といいます。この場合、努力したけれど、裏切られたことになるのでしょうか？私には思いません。きっとその試合の一打席は彼女の心に永遠に刻まれ、苦しいことがあっても、乗り越えたり、勇気づけられたりする原動力になったと思います。あのときのあの努力は、人生の糧になったと思います。決して三振したことを恥と思わず、胸を張って前を向いて人生を歩いていったと思います。チームメイトも彼女の努力していた姿を知っていたから、責めることなく温かく接してくれたのだと思います。結果も大切ですが、結果が全てではありません。結果が出ないからといって、今までの努力が無駄とは限らないのです。それまでの努力や頑張りが大事なのです。

3年生にとって最後の大会が始まります。まだ遅くはありません。みなさんにとってできる努力はあるはずです。最後の最後まであきらめずに努力を続けてください。



吹奏楽部



絶対に金賞をとります!

野球部



県大会常連チームに憧れるのはやめましょう!

サッカー部



悔いのないよう練習の成果を発揮したいです。

男子テニス部



最後の大会で悔いの残らないプレーをします。

女子テニス部



宗田先生、県大会出場を目指して頑張ります!

男子バスケット部



3年生全員が笑顔で終われるようにしたいです。

女子バレー部



大声、元気、笑顔を合言葉に、打倒一中で頑張ります。

女子卓球部



どんな時もあきらめずに1球1球を大切にします。

男子卓球部



負けそうになっても粘り強く戦います。

剣道部



1年生を助けるために3年生がリードしていきます。